



クロスパン・フォト・レター

平成28年12月21日
第8号
長野県伊那北高等学校

「クロスパン・フォト・レター」は、伊那北高校の日常の様子を写真でお伝えすることで、本校の教育活動の一端を紹介し、進学を考える上での参考にしていただければと、平成21年度から月1回程度のペースで発行しています。

研修旅行に行ってきました！



11月16日(水)から18日(金)、2泊3日の日程で、広島を中心に関西を巡る2学年研修旅行が行われました。初日は広島で平和学習。平和記念公園では、充実した事前学習を踏まえながら、実際に現地ガイドさんによる説明や、被災された方の体験談をお聞きしました。



原爆資料館を見学し、原爆被害の実際を知りました。学習のまとめとして、原爆死没者慰霊碑前で平和セレモニーを行いました。代表生徒が平和宣言を読み上げ、学年全員で折った千羽鶴を献納し、最後に平和への祈りをこめて黙祷をしました。



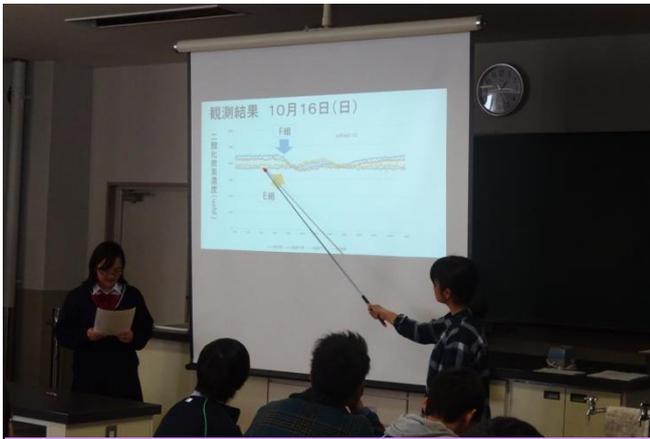
初日はフェリーで宮島に渡り宿泊しました。翌朝は少し早起きをして、厳島神社に参拝をしました。引き潮のタイミングだったため、大鳥居まで歩いて行くことができ、貴重な経験をすることができました。



2日目はクラス別行動でした。事前に立てた計画に沿って、クラスごとに、世界遺産・姫路城の見学や、岡山的美観地区散策などを楽しみました。クラスの親睦を深めることができました。



2日目は神戸で宿泊。3日目は神戸・大阪の班別自由行動。5人程度の班に分かれ、自らの力で目的地に行くという経験も新鮮でした。一生忘れられない充実した3日間になりました。



11月4日(金)、理数科2年生の課題研究中間発表会が行われました。物理、化学、生物、数学それぞれ2班に分かれ、夏休み頃から本格的に活動を始めました。質疑も活発に行われ、意義のある中間発表となりました。今回の中間発表を受けて、1月28日(土)の課題研究発表会に向けてさらに研究を深めています。



11月30日(水)、1・2年生対象に、清水智弥弁護士を講師に招き、講演を行っていただきました。主権者として自立的に判断していくことの重要性を学びました。最後には、本校出身の法学者、芦部信喜氏について触れられ、法曹界に卓越した人材を送り出している伊那北の伝統を受け継いでほしいと激励されました。



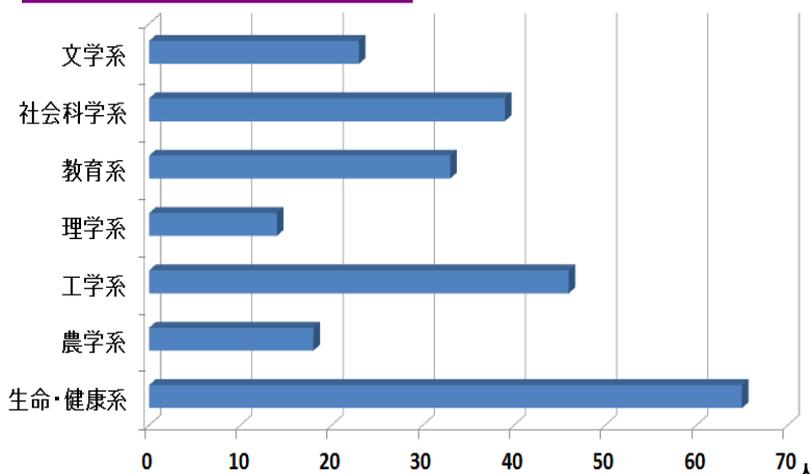
11月30日(金)、地区大会を勝ち抜き上位大会に進出する、将棋部(全国高文連将棋新人大会に出場)などの壮行会が行われました。各選手が抱負を述べた後、応援。生徒が肩を組んで応援歌を歌い、一丸となって選手の健闘を祈りました。最後にダンス部の演技が披露され、壮行会に花を添えました。



上記作品「殻」が、長野県高等学校美術展において優秀作品と認められ、長野県代表として来年度の全国総文祭に出品されることになりました。「かたつむりの殻にある小さな穴たち。いろんな要素を吸収しては余計なものをだす。それは自分を形づくる過程のように思える。」というコンセプトで制作された作品です。

データで見る伊那北高校

3年生進路希望調査結果(学部系統別)



3年生の第1回進路希望調査(4月)の結果です。生命・健康系が最も多くなっていますが、中でも希望者の多い分野は医学、薬学・看護・医療技術です。医学・薬学・看護はそれぞれ10数名、医療技術は20名弱の希望となっています。

伊那北高校のHP(ホームページ)
<http://www.nagano-c.ed.jp/ina/>
 学校に対するご意見・ご要望は上記のHP内メール、またはTEL0265-72-2221(代表) 教頭 平澤までお願いします。